

**日本共産党**  
**すみだ区議団ニュース**  
 第502号  
 発行 日本共産党墨田区議会議員団  
 発行責任者 高柳東彦 / 編集責任者 としま剛  
 発行所 墨田区吾妻橋1-23-20 ☎直通5608-6326  
 墨田区役所16階 日本共産党区議会控室

# 新保健センターの建設に伴う 向島保健センターの廃止はやめよ

## 日本共産党 はらつとむ区議が代表質問

墨田区議会9月議会が、9月10日から30日までの日程で開かれました。10日には、はらつとむ区議が日本共産党の代表質問に立ち、①新保健センター等の建設問題、②大学誘致に伴う問題、③ひきこもり対策、④羽田空港新飛行ルート運用開始問題などについて、山本亨区長の見解を質しました。

また、今議会から、従来の一括質問・一括答弁方式に加えて、分割質問・分割答弁方式が選択できるようになり、はら区議は4回に分けて、代表質問を行いました。

### 北部地域に保健所を残すべき

区は、向島保健センターと本所保健センターを統合して、横川5丁目の機動隊跡地（都から17億円で購入済）に新保健センターの建設を進めています。この施設は、将来の児童相談所の開設を想定した子育て支援センター、教育センターなどとの複合施設とされ、建設費は約45億円を見込んでいます。

はら区議は、①残りの都有地の購入費や整備費

区は、旧中小企業センターに千葉大学を誘致し、その改築費に29億円もかけようとしています。はら区議は、①設計変更を行い、コストの削減を図るとともに、その経費にふさわしい賃料を徴収すべき。②おむらい駅の大学に近い通り側にも改札口を設ける、バリアフリー化を図る地元要望について、東武鉄道との協議はどうなっているのか、と質しました。

区長は、①改修費は、工事単価等を踏まえても適正であると考える。賃料は、地域への貢献度合いや自治体の事例等も含め、総合的に検討する。②おむらい駅のバリアフリー化は、物理的な問題もあり難しい状況。改札口の増設は具体化していないが、引き続き東武と協議していく。



代表質問を行う、はら区議(9月10日、区議会本会議場)

### 「大学のために29億円も」 中小企業センター改修費は問題だ

区は、旧中小企業センターに千葉大学を誘致し、その改築費に29億円もかけようとしています。はら区議は、①設計変更を行い、コストの削減を図るとともに、その経費にふさわしい賃料を徴収すべき。②おむらい駅の大学に近い通り側にも改札口を設ける、バリアフリー化を図る地元要望について、東武鉄道との協議はどうなっているのか、と質しました。

区長は、①改修費は、工事単価等を踏まえても適正であると考える。賃料は、地域への貢献度合いや自治体の事例等も含め、総合的に検討する。②おむらい駅のバリアフリー化は、物理的な問題もあり難しい状況。改札口の増設は具体化していないが、引き続き東武と協議していく。

### ひきこもり支援の強化を

はら区議は、「秋田県藤吉(ふじよし)町では、40代以上も対象にし、社会福祉協議会が訪問。対象者をひきこもりとして扱うのではなく、支援メニューの提供に努め、家から出たいと思った時の居場所を作り、成果をあげている。このような取り組みも参考に」と答弁しました。

区長は、「12月から開始する『若者の居場所づくり支援事業』では、先進事例も参考に、本人に合った形で社会参加を可能とするため、実績のあるNPOに運営を委託して取り組む」と答弁しました。

### 騒音・落下物など重大な影響 羽田都心上空ルートの撤回を求めよ

はら区議は、「国土交通省は、都心上空を低飛行する新たなルートを決して、来年3月29日より運行を開始するとしている。新ルートは、騒音、落下物、大気汚染、資産価値の低下、墜落事故が起きた場合の甚大な被害など、区民の生活や安全に重大な影響を与えます。」と述べ、撤回を求めました。

区長は、「羽田空港の機能強化は必要だと認識しているが、撤回を求める考えはない」と背を向けました。

### プライバシーを侵害する マイナンバーを積極的に活用 する区の姿勢は見直すべき

#### としま剛区議が討論



9月30日、各議案の採決にあたり、反対する条例案について、としま剛区議が討論を行いました。(写真)

「マイナンバーに紐づく特定個人情報を利用しての事務を、保育所の入園申し込みや、児童育成手当の申請などに広く用いる」という条例について、

「飼いのいない猫の不妊・去勢手術費の助成に関する」陳情が、9月19日の区民福祉委員会で審査され、全会一致で採択されました。

山下ひろみ区議は、「平成18年の制度発足以来、助成額は変わっていない。手術費用は上がってきており、半分以上を自己負担している。野良猫を減らす公益性やボランティアの負担を考えると、助成額の引き上げが必要だ」と陳情の採択を求めました。

### 「猫の不妊手術等の 助成額引き上げを」 陳情を全会一致で採択

「飼いのいない猫の不妊・去勢手術費の助成に関する」陳情が、9月19日の区民福祉委員会で審査され、全会一致で採択されました。

山下ひろみ区議は、「平成18年の制度発足以来、助成額は変わっていない。手術費用は上がってきており、半分以上を自己負担している。野良猫を減らす公益性やボランティアの負担を考えると、助成額の引き上げが必要だ」と陳情の採択を求めました。



# 自転車の安全対策・障害者施策の充実を

## 山下ひろみ区議が一般質問



一般質問を行う山下区議  
(9月11日、区議会本会議場)

9月11日、山下ひろみ区議が初の本会議場に立ちました。山下区議は、①自転車の安全な利用に向けて、「マナーの啓発」や「自転車保険の普及」について、②時間貸し駐輪場の整備について、③音響信号の改善について、④重度身体障害者のグループホーム建設などについて、山本亨区長と加藤裕之教育長に積極的な取り組みを求めました。

### 自転車の安全対策の強化を

①運転免許証を例を改正し、来春から自転車保険の加入を義務付けるとしている。区も対応を強めることが必要だ。②警察署と連携して啓発活動を行っていく。③都の動向を注視するとともに、損害賠償保険の重要性の周知に努める。④教育長 交通安全を生活したイベントが行われる際には、区立学校等に周知していく。

# 「ヘイトスピーチは許さない」との姿勢を明確にして対策を図るべき

## 企画総務委員会で 高柳東彦区議



委員会で発言する高柳区議

9月15日の午後、錦糸公園を集合・解散場所として、ヘイトデモが行われ、付近は騒然となりました。9月24日の企画総務委員会で、この問題を取り上げ

高柳東彦区議は、「人権を著しく侵害するヘイトスピーチは、憲法が保障する『集会・結社の自由』や『表現の自由』とも相いれない。区として、『ヘイトスピーチは絶対に許さない』との姿勢を明確にして、対策を講じるべきだ」と主張。副区長は「ヘイトであったかどうか、都の審査会に申し入れている。公園の使用許可のあり方など、対策を検討したい」と答弁しました。

# ほとんどの区立公園を禁煙に 周知徹底と喫煙対策を求める

## 産業都市委員会で あさの清美区議



委員会で発言する、あさの区議

9月20日の産業都市委員会では、来月4月から、錦糸公園、隅田公園を除く、すべての区立公園を禁煙にする条例案が審議されました。あさの清美区議は、「公園に看板を設置す

るなどの周知徹底を」、「現状では、喫煙場所の整備も検討しないと混乱が生じる」と対策を求めました。区は周知を図りたい。喫煙対策については総合的に検討したい」と述べました。また、あさの区議は、区立公園に自動販売機を設置することについて「周辺の商店への影響に配慮すること。約2500万円の収入は、公園の整備に使うこと」を求めました。

### 時間貸し駐輪場の整備促進を

錦糸町駅、両国駅には時間貸し駐輪場が整備されたが、本所吾妻橋等は、いまだに整備されていない。計画」を策定するなかで、区内全域の自転車駐車場の整備のあり方も検討していく。

来年度にかけ「自転車活用推進計画」を策定するなかで、区内全域の自転車駐車場の整備のあり方も検討していく。

### 音響信号の稼働時間の改善を

区内の音響信号は87カ所あるが、24時間稼働しているのは2カ所しかない。ほとんどの音響信号が午後7時、8時には止まってしまう。区報等を通じて、音響信号の意義を啓発するとも、すべての音響信号の実態調査を行い、改善を図っていくべき。

視覚障害者の安全な移動に必要な設備であるが、近隣住民の生活環境への配慮から稼働時間が制限されている。双方の理解が深まるよう、改善を図っていくことが必要と考える。

# 医療的ケアもできる 重度身体障害者グループホームの用地確保・早期建設へ総力を

障害者団体から、水書時に避難できるように4階以上で、非常用電源が確保でき、医療とも連携できる複合施設が望ましいと要望されている。区が総力をあげて取り組んでほしい。

肢体不自由者父母の会と情報交換しながら候補地を検討している。早期開設へ、区内関連所管が連携して取り組んでいく。

## 墨田区議会9月議会で議決された主な議案等と各党の態度

	共産	自民	公明	立憲	都ファ	オン	新す	絆	無	N国	結果
墨田区行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区子育てひろば条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度墨田区一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
墨田区教育委員会委員任命の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
天皇陛下御即位に当たっての賀詞奉呈文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
高齢者の安全運転支援と移動手段の確保に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※「立憲」は「墨田区議会立憲民主党」、「都ファ」は「都民ファーストの会墨田区議団」、「オン」は「墨田オンブズマン」、「新す」は「新しいすみだ」、「絆」は「地域連合すみだの絆」、「無」は「無所属」、「N国」は「NHKから国民を守る党すみだ」の略。



### シリーズ

国立がんセンターの紹介で、肺がん末期の70代の男性を往診しました。いってみると、男性は元気で、鼻から酸素を吸っていて妻と一緒にテレビを見ていました。これまで手術をやってから、肺の転移、脳への転移、背骨への転移を乗り越えて、痛みは麻薬でおさえてきました。国立がんセンター退院後しばらくして、ベランダから飛び降りようとしたのを、家族が取り

## すみだ共立診療所 吉沢先生にきく

### 「肺ガンの男性」

押さえて、難を逃れたこともあったそうです。あとで聞いてみると、夜は眠れなく、何もやることがない。昼間から飲むビールも一日8本くらい。ランタから飛び降りようとしたことも酔っていて憶えていないとのこと。とっさの動作だったかも知れませんが、妻と息子はびくつきしていました。蘭病が8年以上におよび「もうあなたに効く薬はない」と言われたのがショックだったように思います。

往診も毎回行い、訪問看護も入るようになり、皆から励まされていくうちに、元気を取り戻し、変わった行動はなくなり、睡眠剤も有効でした。外出も夫婦でするようになった。診療所にも散歩がてら寄るようになり、区の検診も受けました。レントゲンもひどい状態ではなく安心しました。映画も見に行くようになった。携帯酸素も上手に使っています。ビートルズやアバのCDを買って、聴いているところを見ると、がん末期の人の蘭病としては、いい線かなと思います。